**座間市地域包括ケア会議及び在宅医療推進協議会活動報告書**

平成　28年　7月　26日

|  |  |
| --- | --- |
| チーム名 | 【　地域包括支援センター　】チーム |
| 実施年月日 | 平成２６年８月～平成２８年７月 |
| 内容 | 平成26年度  各包括より個別ケア会議や個別検討会議であげられた課題の報告を行う。  平成27年度  　個別ケア会議であがった『買物難民』より、座間市内では実際に買物を支援している要介護者、要支援者の方がどれだけいるのかを把握する為、市内のｹｱﾏﾈｼﾞｬｰに実態把握調査の協力依頼を行う。ｱﾝｹｰﾄ用紙を配布・回収・集計し、平成28年2月の親会議にて報告を行った。  平成28年度  　新たな課題について検討する。 |
| チーム構成員 | 班長；高間（新田宿地域包括支援センター）  　　　川南（相武台地域包括支援センター）  　　　後藤（相模台地域包括支援センター）  　　　林　（立野台地域包括支援センター）  平成28年度より  　　　平原（ひばりが丘地域包括支援センター）  　　　伊藤（栗原地域包括支援センター） |
| 議　事　録 | |
| 議事 | 平成27年度の動き。  ・10月の親会議にて『買物難民』を共通課題として取り上げる事になる。  ・座間市内の居宅介護支援事業所に所属するｹｱﾏﾈｼﾞｬｰ全員に買物を支援している利用者についてｱﾝｹｰﾄ調査の協力を依頼し実態把握を行う。  ・11月下旬にｱﾝｹｰﾄ用紙を配布・回収・集計し翌年の2月親会議にて報告を行った。  ・集計結果より座間市内では地形により外出が困難となる地区と身体的に外出困難者の多い地区に分かれたが、市内では買物の支援を求めている方が多くいる現状が把握できた。  ・平成28年2月に座間ハイツにあるオオゼキ店が閉店となる事から座間ハイツの管理組合が、買物困難者が多く出る状況を『なかや』に相談した所、『なかや』の協力により送迎バスが出される事となった。  　その後藤井係長となかやの若林専務が話し合う機会があり買物難民の話から「地区にも寄るが送迎バスの依頼があれば検討する」と若林専務の意向を藤井係長よりメンバーに伝えられる。  ・買物を困難とする地区に『なかや』の送迎バスが繋げられるかどうかは各包括にて検討する。  ・福祉長寿課の石井係長より座間市の商工会に買物難民実態把握調査について報告した所、座間市内で買物困難者が多くいる現状に驚かれ「商工会としても何か協力が出来れば」との意見が出ていたと報告を受ける。 |
| 今後の課題  まとめ | 平成26年度の個別ケア会議より高齢者の居場所が少ないとの課題があがった事から、座間市内に高齢者が集える居場所が実際どの位あるのか、また現在行っている活動内容などについても調べ、平成29年度より始まる日常生活総合事業の情報にしたい。  　調査の流れとして  　　8月～10月　各包括にて担当地区にある居場所（サロン等）の情報集め。  　　11月　　　　分類化（おしゃべりを行っている所、運動を行っている所などの情報を分類する）  　　12月　　　　情報をまとめて親会議にて報告する。 |